

令和5年度

予算を公表します

財政課財政係 ☎(63)2151

予算編成のポイント

本市を取り巻く状況は燃油・物価高騰の影響など厳しい側面もあるものの、新型コロナウイルス感染症対策の緩和により経済活動の正常化が進んでいます。

こうした状況を踏まえ、令和5年度は市民生活と経済活動の早期正常化を促進するとともに、コロナ禍で見えた課題や社会環境の変化に的確に対応しながら、未来に向けて持続可能なまちづくりを推進していきます。

令和5年度予算は「未来投資型予算」として、将来を担う子どもたちへの投資や新庁舎の開庁と併せたDXの推進、各種公共施設等の整備などに重点的に取り組めます。

主な事業

全ての子どもが安心して成長できるまちづくり

7億4,360万円

子どもたちの健全な成長や自立を促すため、特に支援が必要な児童等の生活支援を行う「子どもの居場所」を開設するほか、ヤングケアラーに関して、その実態を理解してもらうための周知啓発を行うとともに、対象家庭にヘルパー派遣等の支援策を展開します。

また、こども医療費助成制度の対象者を高校生3年生相当まで拡大するほか、ひとり親家庭等の学童保育利用者に対し利用料の助成をするなど保護者の経済的負担の軽減を図ります。

子育て環境の施設整備については、さつきが丘学童保育施設の建て替えのほか、民間幼稚園の認定こども園化施設整備を支援します。



水源地域振興拠点施設等の整備

16億1,527万円

南摩ダムの建設に関連し、本市西北部地域の活性化に向けた「農村レストラン」や「温泉付きキャンプ場」等を、令和6年春の開業に向け整備します。



時代の要請に応えるDXの推進

6,614万円

本庁舎に総合窓口システムを導入し「書かない」「待たない」「迷わない」窓口を構築するとともに、各種届出のオンライン化、電子契約の推進など、市民の利便性の向上と業務の効率化を図ります。

防災機能の充実

2億8,103万円

多言語対応型の新たな防災情報メールや防災アプリの活用、自主防災会の設立支援、防災士の養成など地域防災力の強化を図ります。

ヤオハンいちごパーク 陸上競技場全天候化

3億3,955万円

鹿沼運動公園の陸上競技場トラックを8レーンの全天候型ヘリニューアルします。

ごみ処理施設の整備

12億1,631万円

粗大ごみ処理施設の長寿命化工事および埋め立て残容量が少なくなってきた一般廃棄物最終処分場の第2期工事を行います。

新たな産業団地の整備

4億6,406万円

令和7年度事業完了に向け、鹿沼インター産業団地の整備を進めるとともに、新たな候補地の抽出および整備手法等の調査を行います。

協働・共創のまちづくり

1億631万円

自治会への支援や「地域のチカラ協働事業」など、住民主体の活力ある地域づくりを推進します。

地域文化の新たな魅力創出と伝承

1,075万円

旧栗野中学校を文化・芸術活動の拠点として活用するなど、文化・芸術を通じたまちづくりを推進します。

J R 鹿沼駅周辺地域の整備

2億2,700万円

令和5年度中のJ R 鹿沼駅東通りの全線完成を目指し整備を進めます。

いちご市プロモーション

1,029万円

「いちご市かぬま」の魅力向上のため、「いちごのもり」の開催やSNS、デジタル広告等を活用したPRを展開します。

花木センター「道の駅」化

400万円

花木センターの魅力向上のため、マーケティングや売上高予測等の基礎調査、地域の活性化につながる導入機能等の調査を行います。

令和5年度の予算規模は、一般会計において417億4,000万円、前年度対比1.3%増です。

水道事業・下水道事業を除く特別会計総額は、192億9,826万円、前年度対比3.4%減で、一般会計と特別会計の総額は、610億3,826万円、前年度対比0.2%減となっています。

令和5年度 一般会計の当初予算

予算規模 417億4,000万円

歳入

市税 市民税や固定資産税など	149億1,046万円	35.7%	自主財源
使用料、手数料など 市営住宅使用料やごみ処理手数料など	11億3,809万円		
諸収入、繰入金など 給食費や貸付金元利収入、各種基金からの繰入金など	42億2,182万円	2.7%	依存財源
地方交付税 どの地域に住む人にも一定の行政サービスを提供できるように、国から交付されるもの	55億円	10.1%	
国・県支出金 国や県からの補助金など	105億2,614万円	13.2%	
市債 道路建設などの事業を行うときの借入金	18億2,490万円	25.2%	
交付金など 消費税や自動車重量税など国・県に納めた税金の一部が一定の基準で交付されるもの	36億1,859万円	4.4%	51.4%
		8.7%	

【目的別】

歳出

民生費 児童福祉や生活保護費などの福祉事業費	152億8,317万円	36.6%
総務費 総務関係の職員の人件費や庁舎管理費、地域のチカラ協働事業費、リーバスの運行費など	61億1,963万円	
衛生費 健康づくりに係る費用やごみ処理費など	44億1,286万円	14.7%
教育費 小中学校や図書館、美術館の管理費など	41億2,633万円	
公債費 借入金の返済金（元金・利子）	33億5,592万円	10.6%
土木費 市道の建設・維持管理や区画整理事業費、市営住宅の維持管理費など	31億6,777万円	9.9%
商工費 中小企業への融資や各種イベントに係る経費など	24億6,094万円	8.0%
消防費ほか 消防や救急に係る経費や議会費、農林水産業費など	28億7,438万円	7.4%
		5.9%
		6.9%

水道・下水道事業会計の予算

水道・下水道事業会計は、上下水道管理運営のための会計で、独立採算制をとっています。

○水道事業会計

収益的収支 (維持管理)	収入	16億8,687万円
	支出	16億5,335万円
資本的収支 (設備投資)	収入	18億5,479万円
	支出	27億484万円

○下水道事業会計

収益的収支 (維持管理)	収入	27億3,115万円
	支出	23億5,511億円
資本的収支 (設備投資)	収入	9億2,146万円
	支出	18億7,278万円

特別会計の予算

特別会計は特定の収入をもって特定の事業を行う会計で、一般の収入や支出と区別して個別に経理しています。

会計名	予算額
国民健康保険	94億5,600万円
公設地方卸売市場事業費	1,290万円
介護保険	85億3,000万円
後期高齢者医療	12億9,700万円
粕尾財産区	20万円
清洲財産区	216万円
合計	192億9,826万円